

PHARMACY DIGEST

5

2012 May

【巻頭インタビュー】…… 2 P

日本プライマリ・ケア連合学会副理事長に聞く

* スタートしたプライマリ・ケア認定薬剤師制度

研修を通して他職種と「顔の見える関係」を築け

石橋クリニック院長/日本プライマリ・ケア連合学会副理事長 石橋幸滋、株式会社キリン堂 調剤運営部部长 渡邊幸子

【ドクター・ハザマのバイタルサイン塾¹⁴】…… 5 P

* CDTMにおける薬剤師の参画目的

ファルメディコ株式会社・大阪大学大学院医学系研究科生体機能補完医学講座 狭間研至

【To Best Pharmacy ～愛されるかかりつけ薬局を目指して～】…… 6 P

* 株式会社ホロン すずらん薬局グループ (広島市) / 株式会社光慈堂 (東京都世田谷区)

【服薬指導のポイント 実践講座⁴⁸】…… 8 P

* 精神疾患 (1) 総論

クオール株式会社 市村康男、櫻井由里子

【医療安全管理入門²⁹】…… 10 P

* 日常の経験から安全管理を考えてみる

医療法人財団健真会 総合東京病院 医療経営室 山本 真

File. 15

株式会社ホロン すずらん薬局グループ

(本社：広島市)

**「すべての人にやさしい薬局でありたい。」
信頼される薬局めざし、多様な先進的取り組みを実施**

無菌調剤室を完備し、すべての処方せんに対応できる在宅業務、目や耳の不自由な患者さんへのきめ細やかなサービス提供ほか、多様な取り組みを積極的に進める株式会社ホロン。代表取締役の古屋憲次氏にお話を伺った。



▲代表取締役社長・古屋憲次氏

—「すべての人にやさしい薬局でありたい。」をモットーに、多様な取り組みをされていると伺いましたが、その中でも、視覚障がい者への取り組みについて詳しくお聞かせください。

視覚障がいの患者さんへの情報提供について考えさせられるようになったきっかけは、20年ほど前に突然、全盲の方が一人で来局されたことに始まります。そのときは薬剤を一包装し、はさみで切り込みを入れることで対応するしかありませんでした。

その後すぐに点字薬袋などを準備しましたが、実際に点字がわかる方は、視覚障がい者の10%程度でしかない現実に気づきました。音声による情報提供が手軽にできないものかと検討していたときに出会ったのが、音声コード読み取り装置『スピーチオ』でした。Wordで作成した文書を簡単に音声コードに変換するソフトも、無償でネット上からダウンロードできる画期的なものでした。

早速2台購入し、患者さんに貸し出すようにしました。その後、公的に視覚障がい者の「日常生活用具」に指定されてからは、その普及活動に努めてきました。



▲点字シールと、音声コード読取装置『スピーチオ』。

—視覚障がいの患者さんから大変好評だそうですね。

はい。昨年4月にはもっと手軽にできるようにと、携帯電話の『らくらくホン』で読める新音声コードが開発されました。そして今年になり、薬剤情報提供文書や領収明細書などに、音声コードドライバー製品を導入することで、レセコンから自動的に音声コード付きで印刷ができるようになりました。このコードを活用することで、将来は外国の方へ本国語で情報提供することが可能になるそうです。また、対応する携帯電話もNTTドコモだけでなく、他社の製品でも利用可能となるとのことです。

なお、音声コード作成ソフトは「日本視覚障がい情報普及支援協会」ホームページ(<http://www.javis.jp/>)からダウンロードできます。音声コードドライバー製品については、同協会にお問い合わせください。



▲『らくらくホン』による音声認識を活用。視覚障がい者への情報提供の幅が広がった。

▶薬剤情報提供文書も、音声コードと、音声コード位置が指で触った時にわかる穴(右下)付きで出力が可能。

基本 DATA

本社所在地：広島市中区袋町4-3／創業：1991（平成3）年／店舗数：13店舗／従業員数：105名(内、薬剤師71名)／URL = <http://www.horon-suzuran.co.jp/>